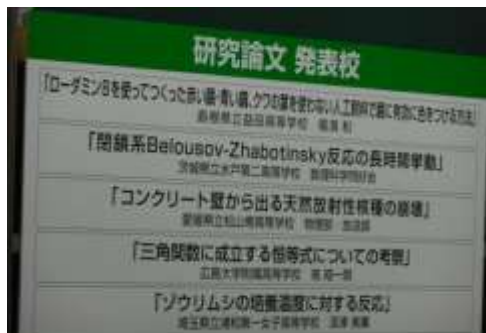


10月30日(日) 東京理科大学 第8回坊ちゃん科学賞 研究論文コンテスト

## 東京理科大学 第8回坊ちゃん科学賞 研究論文コンテスト「最優秀賞」受賞



10月30日(日)に第8回坊ちゃん科学賞研究論文コンテストが東京理科大学葛飾キャンパスで開催されました。応募総数168のなかから、優秀賞を受賞した次の5つの研究作品の口頭発表が行われました。

- ①「ローダミンBを使ってつくった赤い繭・青い繭、クワの葉を使わない人工飼料で繭に有効に色をつける方法」 島根県立益田高等学校 福満 和さん
- ②「閉鎖系 Belousov-Zhabotinsky 反応の長時間挙動」  
茨城県立水戸第二高等学校 数理科学同好会
- ③「コンクリート壁から出る天然放射性核種の崩壊」  
愛媛県松山南高等学校 物理部・放送部
- ④「三角関数に成立する恒等式についての考察」  
広島大学附属高等学校 高 翔一朗さん
- ⑤「ゾウリムシの培養温度に対する反応」  
埼玉県浦和第一女子高等学校 深津 美薫さん

研究分野も物理、化学、生物、数学と多岐にわたり、どの研究作品もよく研究され興味深いものばかりでした。総合的な審査の結果、「ローダミンBを使ってつくった赤い繭・青い繭、クワの葉を使わない人工飼料で繭に有効に色をつける方法」が最優秀賞を獲得することができました。

発表会では、運営にあたっていただいた東京理科大学の皆様の親切で丁寧な対応と、心のこもった運営により気持ちよく参加することができました。ありがとうございました。

